

Sustainable Deliciousness（家庭クラブ）

9月10日（土）、「ふくしま高校生社会貢献活動コンテスト」（県教育委員会とふくしま学びのネットワークの主催、福島大学アドミッションセンターの共催）がオンラインで開かれ、本校の「総探特別チーム（家庭クラブ）」が福島大学アドミッションセンター長賞を受賞しました。



予選を通過した高校生12グループ・個人が、地域課題の解決に向けた取り組みを発表しました。

家庭クラブによる発表は、SDGsの視点を取り入れ、地元スーパーマーケットと共同開発・販売した「iwakiたっぷりハヤシライス」（多くのいわき産食材を活用した「いわき愛」たっぷりのハヤシライス）の取り組みを通して、「Sustainable Deliciousness」というタイトル（「サステナブルな（持続可能な）おいしさ」）のとおり、私たちの日々の食生活をこれからも持続可能にするために、さまざまなことに配慮して食べ物をつくっていきましょうというメッセージが伝わってくる内容でした。

また、家庭クラブは、8月26日（金）、大阪府で行われた、高校生による和菓子コンクール「全国和菓子甲子園」（全国菓子工業組合連合会青年部主催）決勝戦に進出し、奨励賞を受賞しました。

いわき湯本高校という新しい風が、県内外でさわやかに吹いております。
地域を学びのフィールドに、輝く未来に向かって、頑張れ、いわき湯高生。